

<研究課題名>	D-0909 (自然-04)	指標生物群を用いた生態系機能の広域評価と情報基盤整備		
<研究概要> 現状の各生態系観測ネットワークの連携を強化することによって森林生態系における生態系総合監視システムを構築し、生態系機能の時空間的変動を明らかにするための指標生物群を特定する。 (1) 指標生物群の特定と環境応答評価、植物機能データベースの構築及び統括 モニ1000データの解析によって指標生物群を特定し、大規模野外操作実験によってそれらの環境応答特性を明確にする。また植物の機能的性質に関するデータベースを構築する。 (2) 簡便な近接リモートセンシングセンサーの開発 林冠の機能やフェノロジーを多点でモニタリング可能とする簡便なセンサーを開発する。 (3) 森林キャノピーの光合成生産力とその季節性の観測手法の開発 各サイトの生産性を簡便に推定するための手法を開発し、モニ1000データによってこれを検証する。 (4) 安定同位体による生態系機能評価手法の開発 植物の水・養分利用特性、土壌養分ダイナミクスを明らかにすることを通して生態系の水・養分循環の地理的な特徴を浮き彫りにする。 (5) 土壌無脊椎動物の地理分布と機能解析データベースの構築 全国における指標昆虫の栄養段階（食物網の長さ）を明らかにすることで、各サイトにおける食物網多様性の指標を作成する。				
<研究代表者>		日浦 勉		北海道大学・北方生物圏フィールド科学センター 教授（46才）
No.	サブテーマ名		氏 名	所属機関名・部局・役職名
(1)	指標生物群の特定と環境応答評価、植物機能データベースの構築及び統括	◎	日浦 勉	北海道大学・北方生物圏フィールド科学センター・教授
(2)	簡便な近接リモートセンシングセンサーの開発	○	小熊 宏之	国立環境研究所・地球環境研究センター・主任研究員
(3)	森林キャノピーの光合成生産力とその季節性の観測手法の開発	○	村岡 裕由	岐阜大学・流域圏科学研究センター・教授
(4)	安定同位体による生態系機能評価手法の開発	○	大手 信人	東京大学・大学院農学生命科学研究科 准教授
(5)	土壌無脊椎動物の地理分布と機能解析データベースの構築	○	金子 信博	横浜国立大学・大学院環境情報研究院 教授